

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより令和3年12月6日発行

12月の主な行事予定

- 12月 7日(火)県社会教育関係者研修会(オンライン開催)
- 12月12日(日)中部ハイスクールフォーラム2021(オンライン開催)
- 12月16日(木)第2回「とっとり子育て親育ちプログラム」ファシリテータ研修会(オンライン開催)
- 12月17日(金)新任生涯学習・社会教育担当者研修会(倉吉体育文化会館)
- 12月20日(月)第2回鳥取県コミュニティ・スクール兼地域学校協働活動研修会(オンライン開催)
- 12月21日(火)県・市町村社会教育主事及び社会教育担当者研修会(倉吉体育文化会館)
- 12月22日(水)人権アドバイザー及び市町村人権教育担当者等研修会(倉吉体育文化会館)

「コミュニティ・スクール推進研修会」兼「地域学校協働活動研修会」

無理をせず「出来る範囲で」「出来る人が」「出来ることを」でも「持続的に」!

- ・PDCA = Plan/Do/Check/Action
計画、行動、評価、改善
- ↓
- ・DCAP = Do/Check/Action/Plan
行動、評価、改善、計画
- ・AAR = Anticipation/Action/Reflection
見通し、行動、振り返り

教育は、社会全体で行うもの、「かけ算」の方向に



11月22日(月)に、第1回(県・市町村担当者、推進者対象)がオンライン開催されました。前半は、東京学芸大学の松田教授に、「あらためてCSとは何か」「CS推進のための視点」「CSとこれからの社会・教育」について講義をいただきました。後半は、オンライン上の各グループで、担当者としての悩みや解消するためのアイデアについて話し合いました。講評では、公立鳥取環境大学の川口准教授にも、今後につながる視点をいただきました。更なるみなさんの活躍に期待しています。

【川口准教授】

- ・学校運営協議会に教職員も出席(輪番等)することで、より理解が深まる。
- ・推進者や地域の担い手等、次の人材を発掘・育成し、引継いでいくことが重要
- ・他市町村とのネットワークを大切に。

まず、やってみる。それを振り返り次に生かす「DCAP」が有効。それぞれの味を生かしながら「弱いつながり」を大切にしてください。【松田教授】

子育て・家庭教育支援員等フォローアップ研修会

11月29日(月)に、東部・西部会場に分かれた集合・オンライン開催を行いました。「家庭教育支援チームの可能性」と題して、滋賀県教育委員会の方々から家庭教育支援員が学校に配置されている事例等、滋賀県の実践をおとしてご講演いただきました。また、南部町の「訪問型家庭教育支援」の事例発表等、家庭教育支援の可能性が広がるアイデアをいただきました。参加者からも、家庭教育支援にそんなことができるんだ、という感想もありました。今後のみなさんの活躍に期待しています。

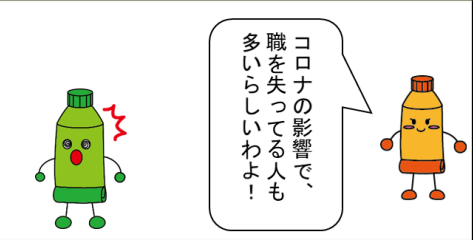


市町村担当者の悩みや解消に向けたグループワーク

この度、三朝中学校PTAが「優良PTA文部科学大臣表彰」と「全国広報紙コンクール 佳作」を受賞されました。ダブル受賞、おめでとうございます！



ちゅうぶくん ～クリスマス～



公民館へ行こう！

浦安地区公民館～折り紙教室～

浦安地区公民館で月1回活動をしている、「折り紙サークル」です。先生に教えていただきながら、細かい作業も指先を上手く使って綺麗に完成させます。世間話をしながら、とても楽しく活動しています。完成した作品は、公民館に飾っているものもあります。



灘手コミュニティセンター～今夜の夕食何しよう会～

倉吉市内で一番小さい「灘手地区」ですが、「ち～とわて、ち～とわて」を合言葉に少しずついろんなことに取り組んでいます。今年で3年目を迎える「今夜の夕食何しよう会」は月に2回、コミュニティセンターで今夜のおかずをみんなで作って持ち帰ります。「一人暮らしだと1人分のおかずを作るのは面倒だし、考えるのも億劫になって。」という来館者の声から一人暮らしの支援事業として始まったサークルです。毎回、自分の家で採れた野菜等を持ち寄り、メニューをみんなで決めていきます。時には地区の食生活改善推進員さん等にアドバイスをいただき、食生活にも気を配っています。今回はキーマカレーとコールスローサラダ、焼き肉のたれを作りました。お料理は勿論のこと、作りながらおしゃべりする事が一番のご馳走です！誰もが気軽に集える「地区のコミュニティセンター」を目指しています。

ほんにだな～。

さ～しぶりだな。



【あしがき】 特別編 (2/5)

我が家では、小さい頃から犬がたくさんいました。それは、父親の趣味である狩猟のための狩猟犬でした。子犬が産まれれば、私の犬のように世話をしていました。ペットではないので、狩猟犬として優れた犬は、やがて売買されてしまいます。そのため、大きく育っても最後まで家に残っていた犬はいませんでした。その中でも特に可愛がっていた犬が、自分の大学時代の学費になったことを聞かされた時は、とても複雑な気持ちでした。(つづく)

中部教育局 社会教育担当係長 徳永正樹
電話 0858-23-3253
FAX 0858-23-5203
E-mail tokunagama@pref.tottori.lg.jp

